

## 崇城大と学園大 連携協定を締結

### 教育、研究で協力

崇城大(熊本市西区)と熊本学園大(同市中央区)は30日、教育研究や組織運営で協力する包括連携協定を結んだ。今後、共同研究の実施や施設の相互利用などを進める。

崇城大は理系中心の工や薬など5学部を持ち、熊本学園大には商や経済など文系中心の5学部がある県内の私立大同士。得意分野が異なる両大学が連携す

ることで、18歳人口減少の加速化などに対応していくのが狙い。

両大学の代表者による運営委員会を近く発足させ、具体的な連携項目を協議していく方針。単位互換、図書館などの相互利用、シンポジウムの共同開催、教職員の資質向上に向けた取り組みなどが上がっているという。

この日、崇城大であった調印式で、同大の中山峰男学長は「知恵を出し合い、学生の資質向上に当たりたい。少子化が進む中、連携

することで存在感を示していきたい」と強調。

熊本学園大の幸田亮一学長は「単独の大学ができる地域活性化への役割は限られる。文理融合で地域発展に貢献したい」と述べた。

(平井智子)



包括連携協定を結んだ崇城大の中山峰男学長(右)と熊本学園大の幸田亮一学長＝熊本市西区